

報告事項

平成30年度 事業計画

平成29年度(2017年度)の沖縄県の経済動向は拡大の方向に推移しており、これは観光客の増加に伴う、観光関連事業の好調さが大きく影響している。

平成29年(2017年)暦年の観光入域客数は939万6,200人(前年比109.1%)で過去最高の観光客数となった。

これは世界の観光地「ハワイ」の観光客数を13,200人上回っており、大きく評価される。その要因は沖縄と国内外を結ぶ直行便の就航や東アジアからのクルーズ船寄港の増加が挙げられる。

一方で空路・海路のインフラ整備および交通インフラの整備、観光客数の増加と比例した滞在数の増加、経済効果の増加など課題も明らかになっている。

平成30年度(2018年度)はこれらの課題解決に向けて取り組みを具体化し、観光客の満足度アップを図ることが求められる。

この様に沖縄観光が躍進する中で那覇市観光協会の果たすべき役割はますます重要になってきた。平成30年度も沖縄県、那覇市とともに観光客の誘客および受入の強化と課題解決に向けて積極的に取り組む。

事業計画

1. 総務・運営

(1) 那覇市観光協会の会員拡大と組織の強化

現会員数 432社 (平成30年2月末現在)

平成30年度会員数目標 450社

*会員特典の充実を図る

会員企業に対し、専門家派遣を含む研修を実施する。

(接客サービス、苦情処理、語学研修、観光知識向上策など)

(2) 観光情報誌「NAHA-NAVI」の発行

①一般用「NAHA-NAVI」 年3回発行・年間 24万部

修学旅行用「NAHA-NAVI」 年2回発行・年間 30万部

観光客、旅行社、修学旅行関係者から好評で全国から送付依頼が多い。

②「NAHA-NAVI」を継続発行する為、会員企業を中心に広告収入が重要である。

誌面の充実とともに広告確保の営業活動を強化する。

(3) 観光情報サイト「那覇ナビ」の提供(那覇市観光協会ホームページ)

Web を活用した観光情報提供や他団体、会員企業との情報共有、連携が重要となっている。

①観光客のニーズを捉え、利用しやすい内容や常に新しい情報提供を行うシステムの充実を図る。

②那覇市観光協会会員企業との連携を強化し、会員企業情報の提供を行う。

(4) 那覇観光キャンペーンレディの選出

那覇市の観光を国内外にアピールし、観光誘客促進と観光客受入事業の充実・強化に取り組む那覇市の観光親善大使として「那覇観光キャンペーンレディ」を選出し、観光促進に取り組む。

2. 観光客の誘客・受け入れ事業

(1) 「那覇市観光案内所」「ショップなは」の運営

平成29年度的那覇市観光案内所(てんぶす那覇1階)の来訪者見込みは99,900人(前年比103.0%)そのうち外国人観光客は16,600人(前年比103.5%)と見込まれる。

①平成30年度那覇市観光案内所の利用客目標

105,000人(前年比105.1%)内 外国人観光客 17,500人(前年比105.4%)

②日本政府観光局認定のビジットジャパン案内所(カテゴリーⅡ)として増加する外国人観光客のニーズを捉え、対応スタッフの充実を図る。日本人観光客に対しても満足度アップに繋がる情報収集と案内レベルのアップを図る。

③観光関連団体、会員企業とも連携を強化し、観光客に対するおもてなしサービスの強化を図る。

* 那覇市内及び県内観光地のパンフレット等の配布。

* 那覇市観光協会発行「NAHA-NAVI」の配布、全国発送

* 那覇市観光協会のホームページをはじめ WEB を活用した那覇市観光情報の発信。

* 観光客ニーズを捉えた事業の推進

・手荷物預かり、コインロッカーの運営・管理

・ベビーカー、車いすの貸出

・観光施設のチケット販売、オキカ(バス・モノレール乗車券)の販売、定期観光バスチケット販売 他

・県内観光地ツアーの企画・販売、観光関連企業等とのタイアップ企画の委託販売

④「ショップなは」の商品力・販売力強化を図り、那覇市の特産品、地域おこし商品などの販売に取り組む。

* 那覇市長賞受賞商品の販売

* 那覇市のイベント・地域おこし商品群「龍柱会議」商品群の販売

*プロ野球「読売巨人軍」応援グッズの販売

*那覇市および県内の地域こだわり商品、地産地消商品の販売

ショップなは 平成30年度 売上計画 16,700千円(前年比110.6%)

(平成29年度 売上見込み 15,100千円)

(2) まち歩き整備事業(那覇まちま〜い)

「滞在型観光と地域密着」がこれからの沖縄観光のテーマとして求められてきている。そのメニューとして「那覇まちま〜い」は重要になってくる。平成29年度の参加者は上半期に旅行社団体扱いの減少が影響し年間で15,100名(前年比96.0%)の見込み。

8年目を迎える平成30年度は、幅広い年代の方々に向けた商品開発(コース開発)を更に強化し取り組む。

①平成30年度 那覇まちま〜い参加者目標 17,000名 (前年比112.6%)

②観光客および地域のニーズに応え、個人観光客、団体、修学旅行、MICE 等幅広い方々に参加してもらえる商品開発(コース開発)に取り組む。

歴史コース、市民生活コース、体験コース(ものづくり、飲み・食べ歩き、イベント参加等) パワースポットコース、ファミリー向き・女性向き・外国人向きコース、よしもと沖縄等他団体とのコラボコース等。

③旅行社、観光関連団体とのタイアップ強化

沖縄観光コンベンションビューローほか、観光関連団体および旅行社とのタイアップを強化し、全国からの沖縄ツアーに「那覇まちま〜い」を取り込んだ企画提案を行う。

④修学旅行受け入れ促進

学校関係者、旅行社へのアプローチを強化し、修学旅行にあったコース提案などを行う。「戦争体験朗読劇」が高い評価を受けており、さらにアプローチを強化する。

⑤沖縄まちま〜い協議会の活動に協力し、全県でのまちま〜いの推進を図る。

(3) 外国人観光客受入整備事業

那覇市の委託事業として8年間取り組んできたが、平成30年度からはプロポーザルの公募システムでの取扱事業となるため現在、那覇市に対し申請中である。

今年(平成29年)暦年(1月~12月)の外国人観光客数は、2,542,000人(前年比122.1%) 県内観光客全体の27.1%に達する。

外国人観光客増の要因は、海外航空会社の沖縄路線拡大、増便、LCCの参入、更には大型クルーズ船の寄港増加が挙げられる。平成30年度も更なる観光客増加が見込まれており、外国人観光客受入体制の整備強化が必要である。

①外国人観光客受入整備事業

・会員店舗を中心に語学サポート、語学指導

会員店舗等で外国人観光客対応に必要な接客語学指導、表示案内等

・外国語講座の実施(英語、中国語、韓国語)

- ・国際通りなど中心商店街で外国人観光客の対し、交通案内、街なか情報サポート。

②クルーズ船対応

- ・平成29年度的那覇港(若狭クルーズバース、安謝新港)におけるクルーズ船寄港は、250回を予定されており、平成30年度は330回の寄港予約が入っている。クルーズ船の寄港に際し、観光案内所の設置、市内外の観光地案内、交通機関案内等を取組む。

(4) 観光クーポン券取扱事業および修学旅行、MICE 誘致事業

①クーポン券取扱事業

識名園、玉陵、福州園、那覇市歴史博物館、那覇市立壺屋博物館に関し、全国の旅行社とクーポン券取扱契約を締結し、集客に務める。

②修学旅行、MICE の誘致活動

那覇市の会議場施設、観光地、ホテル等を活用した MICE の誘致、修学旅行の誘致活動を強化。

③保有する「第3種旅行業」資格を活用した企画を提案実施する。

観光客ニーズの高い県内観光地ツアーなどを企画また観光関連企業ともタイアップし、各種ツアー等の企画販売、予約販売等も推進する。

3. 指定管理受託事業

(1) 波の上ビーチ広場

那覇市唯一のビーチである「波の上ビーチ」に隣接の緑地帯「波の上ビーチ広場」を那覇市から指定管理を受託し、観光客が使いやすい環境の整備、清掃・管理を行う。

ビーチ売店、緑地帯における BBQ の運営など市民・観光客が安心・安全で楽しめる広場とする。

平成30年度「波の上ビーチ広場」収支計画(単位=千円)

	①管理運營業務		②自主事業(収益事業)	
収入	管理委託費 利用料金	8,000	BBQ、売店売上	16,500
支出	水光熱費、 清掃委託費、人件費	10,700	人件費、仕入費	13,600
	損 益	-2,700	損 益	2,900
			①+② 損益	200

(2) 松山公園文化交流施設

那覇市より福州園、クニンダテラス、松山公園駐車場の指定管理を受託。

委託管理3年目を迎える今年度は、施設利用者の拡大の為の各種イベントの充実を図る。

①福州園の入園者拡大に向けて、イベントの企画(音楽祭、観月会ほかに取り組む。

ライトアップ事業は更にグレードアップを図り、市民、観光客のニーズに応える。

MICE および関連イベント、ウェディングの利用など施設の活用、活性化を図る。

平成30年度福州園入園者目標 70,000人(前年比117.4%)

②那覇まちなま〜いとの連携を強化し、福州園、久米探索など歴史と文化をさぐり、観光促進につなげる。

平成30年度「松山公園文化交流施設」収支計画 (単位=千円)

①管理運営業務			②自主事業	
収入	管理運営費	20,400	駐車場収益	5,184
	福州園入園料	18,660	イベント収益	10,800
			自販機、他	250
	合計	39,060	合計	16,234
支出	人件費・管理費	17,020	駐車場整備及び	2,700
	清掃、補修、広報他	34,650	イベント経費	
			合計	2,700
	合計	51,670	合計	2,700
	損益	-12,610	損益	13,534
			①+② 損益	924

4. イベント事業 (主なイベント)

伝統、歴史、文化、スポーツ等さまざまなテーマで繰り広げられる那覇市のイベントに取り組み、イベントを通じて観光客の誘客、観光客と市民の交流を図る。

①島ぜんぶでおきな祭「第10回沖縄国際映画祭」 4月19日(木)～4月22日(日)

那覇市をメイン会場として展開される同映画祭を成功させ、観光客の誘客と地域の活性化を図る。映画祭を通じて那覇市を強くアピールする為、当協会では沖縄国際映画祭「なは応援団」の事務局を担い、レッドカーペットをはじめ映画祭関連事業に取り組む。

②第44回「那覇ハーリー」 5月3日(木)～5月5日(土)

歴史と伝統ある「那覇ハーリー」の実行委員会構成団体として、那覇爬龍船振興会等と協力し多くの県民、観光客に楽しんでもらえるよう取り組む。

また、同会場において「2018那覇観光キャンペーンレディ」の認証式を行う。

③第48回「那覇大綱挽まつり」 10月6日(土)～10月8日(月)

10月6日(土)「市民演芸・民俗伝統芸能パレード」(那覇市観光協会主管)

10月7日(日)「那覇大綱挽まつり」 (那覇大綱挽保存会主管)

10月6日(土)～8日(月)「RBC 市民フェスティバル」(琉球放送主催)

那覇市観光協会が主管する「市民演芸・民俗伝統芸能パレード」は、全国の那覇市交流都市からキャンペーンレディやミスの親善大使が参加。海外、県外からの参加もあり多くの市民、観光客が楽しんで頂けるパレードとして取り組む。

④第53回「琉球王朝まつり首里」 11月3日(土)

琉球王朝の栄華を伝える同まつりを、首里振興会および実行委員会と協力して取り組む。

⑤第34回 NAHA マラソン 12月2日(日)

「太陽と海とジョガーの祭典」として参加者規模(3万人)の多さ、沿道の応援のすごさなど人気のマラソンとして、全国屈指の日本陸連公認マラソン大会である。海外、県外からも1万人以上の参加もあり冬場観光の柱にもなっている。

当協会は、NAHA マラソン協会の構成団体として、安心・安全で参加者と応援者が楽しめる大会に成るよう、安全管理とスムーズな大会運営に取り組む。

⑥プロ野球「読売巨人軍・春季キャンプ」 2月予定

読売巨人軍那覇キャンプは、那覇市の観光・経済の拡大に極めて大きな効果があり、多くの市民・県民また観光客の方々が楽しみにしているイベントである。

那覇市・那覇商工会議所・那覇市観光協会等が中心となり、読売巨人軍那覇協力会組織の拡大に努め、那覇市全体で読売巨人軍の応援体制が組めるように努力する。

当協会も読売巨人軍那覇協力会の一員として、会員企業、店舗に呼びかけ積極的な取り組みを行う。

また、那覇キャンプオリジナルかりゆしウェア、琉球ガラス等のオリジナル・ジャイアンツグッズの製作、販売に取り組む。